

1年8組理数科 東京大学生産技術研究所見学と千葉大プレゼン講座

11月14日（金）理数科1年8組の生徒39名は、秋晴れの日には東京大学生産技術研究所（東大生研）の千葉実験所を訪れました。ここは東大の駒場キャンパスではできない巨大な施設や設備を使った研究を行う場として設置されている研究所です。施設設備の一つ一つには、世界をリードする最先端の技術が含まれています。



JR西千葉駅 千葉大学の隣にあります。



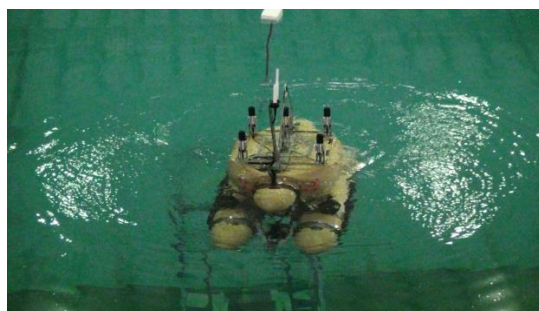
天気がよく絶好の校外研修日和でした。



テンセグリティの構造を分かりやすく説明してくれました。そのユニークな軽量構造を利用した巨大ドーム。



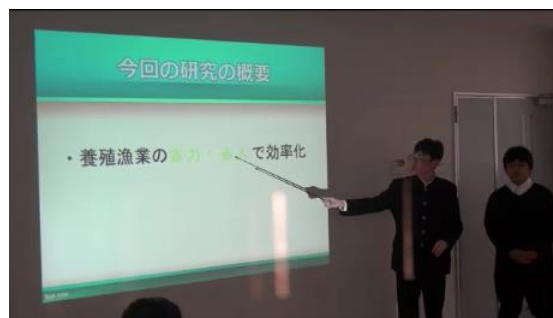
波や風が起こせる50mの巨大水槽と、2000mまで潜れる自動潜水ロボットです。生徒達は8つの班に分かれて、これら施設の前で実際に研究に携わっている人達の解説を熱心に聞きました。



この日は一般への公開日ということもあり、大学の研究者や企業の開発者の方々が多数訪れていましたが、そこに混じって積極的に質問していました。

また、テンセグリティを研究している川口先生から、「誰もが無理だと思っているテーマでも、真剣に粘り強く取り組んでいると、ある時に発想がひらめくんだよ」と珠玉の言葉を頂きました。

午後は千葉大学工学部の山本先生のプレゼンテーション講座を受講しました。午前中見学した内容をまとめてプレゼンテーションを行いました。自分達でテーマを決め、コンセプトマップを活用して手際よく準備を進めていきました。



コンセプトマップを使って山本先生より指導を受け、パワーポイントを使った5分間の発表を行いました。5分間という短い発表時間の間に、要点を絞って伝えたいことをいかに上手に伝えるか、改めてプレゼン技法の難しさを学んでいました。まとめる時間が少ない中で皆、なんとかまとめていました。予定より少し長くなり、帰り道は暗くなっていましたが、満足した表情で研修を終えました。